

令和元年度 多機能事業所 は〜と・ピア2 事業報告

1 日常生活の援助・支援

(1) 生活介護

個別支援計画に基づき、健康的で豊かな生活を維持していくための基本となる身体介助や生活介護、コミュニケーション援助・支援等を個々の利用者に合わせ行った。

時 間	適 用	時 間	適 用
8 : 4 0 ~	送迎車出発 通所、個人活動	1 3 : 3 0 ~	箸入れ作業、個別活動 (月)創作活動 (水)編み物
1 0 : 0 0 ~	朝の会・体操	1 5 : 0 0 ~	館内清掃
1 0 : 3 0 ~	水やり、ウォーキング、ドライブ、 個人活動	1 5 : 3 0 ~ ただし、水曜日は 1 5 : 0 0	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 支援会議のため)
1 2 : 0 0 ~	昼食・休憩		

(2) 就労移行支援

基本方針に則って、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力向上に向けての意識を持つよう、役割を決め取り組んでいる。

時 間	適 用	時 間	適 用
9 : 3 0 ~	自主通所、個人活動、 えんむすび勤務	1 2 : 4 5 ~	昼食
1 0 : 0 0 ~	朝の会・体操	1 3 : 3 0 ~	受注作業、個別活動
1 0 : 3 0 ~	水やり、個人活動	1 5 : 0 0 ~	館内清掃
1 1 : 0 0 ~	えんむすび勤務	1 5 : 3 0 ~ ただし、水曜日は 1 5 : 0 0	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 サービス支援会議のため)

2 事業目標の達成状況

(1) 生活介護

① 本人の思いに添った個別的な支援

障害の特性に添って、一日の流れを分かりやすく提示し、混乱の少ないように活動を提供してきた。スムーズに作業や活動の取り組みができるよう、空き時間の過ごし方やより本人に適した活動の提案が課題である。

② 支援指針に則った支援の質の向上

経験の少ない支援員に対してその都度説明を行い、また勉強会を行って支援技術の向上に努めている。法人内外の研修の参加を呼びかけている。

③ 利用者の確保

生活介護では、支援学校卒業後の進路として実習受入れが数件あった。

就労移行では、見学や問い合わせはあるが、利用者の確保は出来ていない。

(2) 就労移行支援

中華弁当屋「えんむすび」の活動は、担当日には9:30からのから揚げ等の衣つけも行なって、意欲が増している。ガラス拭き、文京区役所等への配達、翌日の材料の買い出し、仕込みの手伝い等を行ない、利用者の仕事に対する意欲は高まっている。

次の①～③について、自分自身を理解し、必要に応じて改善し、定着するよう支援を行った。

① 日常生活

食事、服薬管理、通院、体調不良時の対処、身だしなみ、金銭管理、自分の障害や症状の理解

- ② 働く場での対人関係
あいさつ、言葉づかい、協調性、感情のコントロール、意思表示
- ③ 働く場での行動・態度
一般就労への意欲、作業意欲、持続力、欠勤等の連絡、作業の正確性、環境変化への対応
- ④ 利用者の確保
昨年度に引き続き2名が利用しており、今年度末で期間満了を迎える。他区も含め案内を送り事業説明をする機会を増やし利用者を確保する。

3 健康管理

- (1) 血圧・体重測定
看護師により週1回血圧測定を、月1回体重測定を行っている。
- (2) 定期健診
小石川メンタルクリニック 白井麻理医師による定期健診を3ヶ月に1回行なっている。
- (3) 定期健康診断
昨年度同様2日間に分けて実施した。11月13日、11月27日に実施した。
- (4) 定期健康診断
インフルエンザの予防接種を希望者を募り実施している。

4 社会生活の支援

- (1) 買い物
買い物を体験することで社会経験の拡大を促すことを目的に行うものとする。
- (2) 公共施設の利用
図書館やコンサートなどの身近な公共機関の利用や地域のイベントに参加することによって、生活経験を広げることを目的として実施した。

実施回数	利用施設	内容
7回	文京シビックセンター ミニコンサート	ミニコンサート鑑賞会
9回	文の京ハートフル工房	販売

5 生産活動

作業をすることを通して、働く喜びや社会構成員としての自覚を促すことを目的に実施した。

(1) 室内作業

作業	作業内容	備考
丁合、梱包、検品作業など	ジョブ～る文京から受けた作業を分担して行った。 (丁合、手帳カバーかけ、水道局冊子セット作業など)	ジョブ～る文京
パン袋折込作業	食パンを入れる袋を折り込み、紙で包んで包装し納品	(株)光希
冊子封入作業	全国連合小学校長会機関誌の小学校時報の冊子封入	(株)第一公報社
割箸の袋入れ	えんむすびで使用する割箸を紙袋に入れ、一定の本数をビニール袋に梱包。	えんむすび (就労移行支援)

(2) 清掃活動

事業名	事業内容	備考
館内清掃	毎日、館内の清掃、及びゴミ収集を行った。	
公園清掃	毎週金曜日、利用者及び支援員で区立竹早公園の清掃を行った。 (ゴミ袋回収、ゴミの分別、ゴミ拾い、灰皿洗浄)	文京区からの受託事業

6 創作的活動

自己選択・自己決定の機会を設定し、利用者の主体性や個性、意欲（知識、経験、習慣）を育み潜在能力を引き出すことを目的として実施した。

内 容	
図画工作・手芸	<ul style="list-style-type: none">・ビーズ細工（ブレスレット・指輪）・編み物（マフラー、アクリルたわし等）・スウェーデン刺繍・手織物・七宝焼き・壁面装飾・フラワーセラピー

7 その他の活動

(1)全体活動

基礎体力作りや健康維持を目的に、生活の中で身体を動かす時間を作り、継続した。

体 操	体力・筋力の維持を目的として毎朝の体操を行い、周辺を歩いた。毎週木曜日午後にはストレッチ体操を楽しみながら体験できるように行っている。
水 泳	プール（湯島、教育の森、障害者スポーツセンター）で、数人の利用者と水を楽しむことや泳ぎや歩行を行い、体力維持を目指した。
リサイクル活動	ペットボトル洗浄、ラベル剥がし、ペットボトル潰し
その他	パソコン、DVD鑑賞、雨天の場合は館内でダンス・体操を実施
地域自立支援協議会障害当事者部会	利用者1名が委員として会議に出席している。知的障害以外の障害当事者委員とともに自分の意見を発言することで、自信につながっている。

(2)グループ外出活動

小グループに分かれ、利用者のニーズに応えた外出活動を実施した。

実施日	主な見学施設	内 容
4回 9, 10, 11, 2月	柴又、大手町、トランポランド、スカイツリー	外食、買い物、観光等

8 年間行事実施状況

月	内 容
4	フラワーセラピー（19人）
5	誕生会（17人）、日帰り旅行（ディズニーランド）（18人）
6	フラワーセラピー（19人）、招待ボウリング（9人）、水泳（10人）
7	誕生会（16人）、水泳（6人）
8	フラワーセラピー（19人）、水泳（10人）
9	誕生会（16人）、水泳（8人）、郊外宿泊（鴨川（16人））、運動会白組応援合同練習（4人）

10	フラワーセラピー（19人）、合同運動会（12人）、水泳（8名）、グループ外出（3名）
11	誕生会（18名）、健康診断（15名）、水泳（5名）、グループ外出（3名）
12	フラワーセラピー（19人）、ふれあいの集い（19名）、後援会クリスマス会（17名）、水泳（6名）、忘年会（16名）、
1	合同ボウリング（9名）、誕生会（19名）、成人のお祝い会（18名）、水泳（3名）、
2	フラワーセラピー（19人）、節分豆まき（19名）、グループ外出（2名）、水泳（8名）
3	誕生会（18名）、お別れ会（18名）

9 通所者数及び職員数

(1) 生活介護

※各月1日現在

定員22名

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
区分	区分6	4	4	3	3	3	3	20
	区分5	1	1	1	1	1	1	6
	区分4	11	11	11	11	11	11	66
	区分3	2	2	2	2	2	2	12
	区分2	2	2	2	2	2	2	12
合計		20	20	19	19	19	19	116
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分	区分6	3	3	3	3	3	3	18
	区分5	1	1	1	1	1	1	6
	区分4	11	11	11	11	11	12	67
	区分3	2	2	2	2	2	2	12
	区分2	2	2	2	2	2	2	12
合計		19	19	19	19	19	20	115

(2) 就労移行支援

※各月1日現在

定員8名

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
通所者	人数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	1	1	1	1	1	1	6
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所者	人数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	1	1	1	1	1	1	6

(3) 職員数（生活介護）

(4) 職員数（就労移行支援）

月		3月
職員	施設長	1
	サビ管	1
	支援員	4
	計	6
非常勤	支援員	16
	嘱託医	1
	看護師	1
計		18

月		3月
職員	施設長	1
	サビ管	2
	支援員等	2
	計	5
非常勤	支援員等	4
	嘱託医	1
	看護師	1
	栄養士	1
計		7

(5) 入退所状況

① 入所

入所年月日	性別	年齢	入所前状況	障害支援区分	
H31. 4. 1	男	18	特別支援学校	4	生活介護
R2. 3. 9	男	19	特別支援学校	4	生活介護

② 退所

退所年月日	性別	年齢	退所後状況	障害支援区分	
R1. 5. 15	女	50	短期入所	6	生活介護
R2. 3. 31	男	23	社会福祉法人 SHIP	5	生活介護
R2. 3. 31	女	44	ふるさと学舎本郷	3	就労移行支援

10 介護等体験

受入数	性別	学校名、利用施設
4人 (8月)	男女	武蔵大学
5人 (9月)	男女	武蔵大学、日本女子体育大学
6人 (10月)	男女	武蔵大学、日本女子体育大学、明星大学
2人 (11月)	男女	武蔵大学、共立女子大学

11 ケース会議実施状況

開催回数	主な会議内容
12回開催 (4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3 月)	(1) 利用者の状態の把握 (2) 行事等事前打ち合わせ、反省会 (3) 個別支援計画、サービス等利用計画の確認

12 家族会の開催状況

開催回数	主な会議内容
6回開催 (5, 7, 9, 11, 1, , 3月)	(1) 施設運営について (2) 行事計画について (3) 利用者の様子 (4) その他

13 送迎

	利用人員	送迎時間
朝	16	午前8時40分から午前9時55分
夕方	16	午後3時30分から午後4時50分

水曜日の帰りの送りは、午後3時から午後4時20分